

1. 件名：東京電力福島第一原子力発電所の事故分析に関する現地調査
2. 日時：令和4年2月22日（火）8時30分～14時00分
3. 場所：中国電力株式会社島根原子力発電所（1号機及び管理事務所内会議室）
4. 出席者

原子力規制庁

長官官房 国際室

安井原子力規制特別国際交渉官

長官官房 広報室

羽賀専門職

原子力規制部 東京電力福島第一原子力発電所事故対策室

岩永企画調査官、佐藤（雄）管理官補佐

原子力安全人材育成センター 原子炉技術研修課

上ノ内教官

中国電力株式会社

電源事業本部 山本部長（原子力安全技術）

島根原子力発電所 岩崎所長 他4名

5. 要旨

○東京電力福島第一原子力発電所事故の調査・分析の一環として、中国電力株式会社（以下「中国電力」という。）島根原子力発電所1号機の原子炉格納容器内及びシールドプラグについて、以下の観点の調査を実施した。

- 福島第一原子力発電所3号機の水素爆発時に生じた黒煙の原因と考えられる可燃性ガスの発生源の検討に係る島根原子力発電所1号機の格納容器内のケーブル、塗料等の敷設状況の調査。
- 福島第一原子力発電所2号機のシールドプラグの変形要因の推定に係る島根原子力発電所1号機のシールドプラグの形状測定。

○原子力規制庁から、本日の調査に係る検討状況等を説明するとともに、可燃性ガスの発生源に関する調査等、東京電力福島第一原子力発電所事故の調査・分析に係る検討への協力を中国電力に依頼し、中国電力から了解した旨の返答があった。

6. 資料

なし

以上